

2020年11月4日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 代表取締役 執行役員社長
船越 秀明

(コード番号 6839 東証第一部)

問 合 せ 先 IR・広報室長 大谷 恭
TEL 072-870-4395

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月3日に公表いたしました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）第2四半期連結累計期間の連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
2020年8月3日 発表予想 (A)	百万円 39,000	百万円 △400	百万円 △550	百万円 △1,100	円 銭 △32.24
今回修正予想 (B)	38,480	200	280	△560	△16.41
増減額 (B-A)	△520	600	830	540	
増減率 (%)	△1.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	42,109	△1,905	△1,811	△1,866	△54.71

(2) 修正の理由

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高は2020年3月期第4四半期から続いている米国市場における液晶テレビの好調な販売が、当第2四半期においても持続されました。しかし、国内市場においては第1四半期に引き続き巣ごもり需要等により2K液晶テレビの販売が好調であり、また、2020年6月に発売した有機ELテレビの新製品も好評だったものの、4K液晶テレビの販売が伸び悩んだことなどにより、当初予想を若干下回る見込みであります。

損益面につきましては、当第2四半期において、米国における液晶テレビの市場価格が下落すると見込んでいたところ、液晶テレビの販売が好調であることにより、市場価格が維持され、利益率が改善したことなどにより、営業利益は当初予想を上回る見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の改善に加え第2四半期末の為替相場が想定より円安となったことによる為替差損益の改善などにより当初予想を上回る見込みであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述の内容に加え、北米販社の利益改善により法人税等調整額の計上が想定より増加したものの、当初予想を上回る見込みであります。

上記の理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において、それぞれ2020年8月3日に公表いたしました当期連結業績予想を上回る見込みとなったことから、当第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正させて頂くものであります。なお、通期の業績予想につきましては現在精査を進めており、詳細につきましては2020年11月9日公表予定の第2四半期決算短信において開示する予定であります。現時点においては修正する予定はございません。

注：上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上